

科目区分	教養科目	授業科目名	華道概論			科目コード	26B002	担当者	大町 福美			担当形態	単独	
対象学科・コース	生活創造学科	配当年次	2年次	開講学期	秋学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件				
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法 施行規則に 定める 科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び 科目との関連											科目に含める ことが必要な 事項

授業の主題	花をいけることによって、今の暮らしを潤す	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	毎回提出される感想レポートに対し所見を述べ、疑問に答える。
授業の方法	プリントを配布し板書しながら講義形式で行う。華道教授にいけばなを実演して華道の知識を深める。また学生も花を生ける機会がある。	アクティブ・ラーニングの 実施方法	学生が自ら構成を考え、花を生ける授業を全2回設ける。学生が講義で身に付けた知識を実践する時間とする。

回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	オリエンテーション	授業内容を振り返り、次回以降に向けての学習の準備を行う	
第2回	いけばなの成り立ち（歴史）	授業内容についてレポートにまとめる	
第3回	いけ方の基本（用具・花器・技法）	授業内容についてレポートにまとめる	
第4回	自由花（特徴・表現・構成法）	授業内容についてレポートにまとめる	
第5回	実技①自由花	授業内容についてレポートにまとめる	
第6回	実技②自由花	授業内容についてレポートにまとめる	
第7回	生花（正風体・新風体）	授業内容についてレポートにまとめる	
第8回	立花（正風体・新風体）	授業内容についてレポートにまとめる	
		事前・事後 学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者 名/出版社]	必要に応じて資料等を配布します。	受講生への メッセージ	華道は、数百年という悠久の時の流れの中で結実した世界に誇れる文化です。
参考書 [書名/著者 名/出版社]	なし		

評価基準																
学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	学修成果の 配点比率(%)	評価方法の配点比率(%)					学修成果の小分類			尺度					
			定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S:100~90%)	レベル4 (A:89~80%)	レベル3 (B:79~70%)	レベル2 (C:69~60%)	レベル1 (F:59%以下)
卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	尽心	① 学習意欲														
		② 規律性														
	知識・技能	③ 知識	80			70		10	いけばなの歴史や基礎知識を十分に有し、他者にも説明ができる。	専門知識	レポート	いけばなの歴史や基礎知識を十分に有し、他者にも説明ができる。	いけばなの歴史や基礎知識を十分に有し、他者にもある程度説明ができる。	いけばなの歴史や基礎知識を有し、他者にも説明ができる。	いけばなの歴史や基礎知識をある程度有し、他者にも説明ができる。	いけばなの歴史や基礎知識が不十分であり、他者に説明ができない。
		④ 技能														
	創造	⑤ 情報活用能力														
		⑥ 課題解決力														
	表現	⑦ 言語活用能力														
		⑧ コミュニケーション力														
	実践	⑨ 主体性	20			10		10	他者とコミュニケーションを取りながら、主体的に楽しんでいけばなに向き合うことができる。	主体性	作品、レポート	他者とコミュニケーションを取りながら、主体的に楽しんでいけばなに向き合うことができる。	主体的に楽しんでいけばなに向き合うことができる。	楽しんでいけばなに向き合うことができる。	ある程度楽しんでいけばなに向き合うことができる。	楽しんでいけばなに取り組むことができない。
		⑩ 協働性														
合計		100			80		10									